

応用物理学会 2024年春季学術講演会シンポジウム

2024年3月22日（金）13:30～17:00

ハイブリッド開催

（東京都市大学 世田谷キャンパス & オンライン）

## 「磁場を利用した分析技術の最前線」

磁場を用いた分析技術は、無機・有機材料・生体関連物質といった様々な材料について、非破壊・非接触での物性測定を実現します。今回、最新の分析技術や磁場発生技術などの分野でご活躍の皆様にご講演いただきます。是非、ご参加いただき、本企画が異分野融合研究開拓のきっかけとなることを期待しております。

### 招待講演者 及び 講演タイトル（タイトルは予定）

- ・ 小濱 芳允(東京大学物性研究所)  
新規磁場発生技術によるパルス磁場下での時間分解測定
- ・ 香川 晃徳(大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点)  
擬単結晶法のトリプレットDNPへの応用
- ・ 竹澤 昌晃(九州工業大学)  
Kerr効果顕微鏡を用いた磁性材料の磁区構造解析
- ・ 一柳 優子(横浜国立大学/大阪大学)  
磁気ナノ微粒子を用いたセラノスティクス応用
- ・ 河野 誠(株式会社カワノラボ)  
永久磁石を利用した微粒子物性測定

※本シンポジウムへの一般講演も募集しております

企画 : 磁気科学研究会

世話人 : 池添泰弘(日本工業大学), 三井好古(鹿児島大), 高橋弘紀(東北大)